

豊産管理株式会社

環境経営レポート

(対象期間:2024年4月～2025年3月)



作成日: 2025年 4月 24日

I 環境方針

＜経営理念＞

1. お客様に対するサービスの提供を第一に考え、技術の向上・革新に取り組み持続的な発展を目指します。
2. 環境への負担低減を重視し、創造と調和を保ちます。
3. 社会や地域から必要とされ続ける企業として長期的な健全経営を目指します。

＜環境理念＞

私たちは、公共施設の維持管理事業、管路更生事業及び産業廃棄物の収集・運搬事業を通じ、地球環境への負担低減を追求し、地域社会から必要とされる企業を目指します。
経営上の課題とチャンス را把握し環境保全への行動指針に反映させます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 電気・ガソリン・軽油使用量を削減し、二酸化炭素の抑制に取り組みます。
2. 水の使用量を軽減し、省資源に配慮します。
3. 自社排出の廃棄物の削減に取り組みます。
4. 作業を標準化するマニュアルを作成し、生産性向上に取り組みます。
5. 事業活動に関する法規制等は、確実に遵守することを誓約します。
6. 地域活動、環境保全活動への参加、環境活動レポートの公表等、地域との環境コミュニケーションに努めます。
7. 環境経営システムの継続的改善を図り、常に、環境に配慮した管路更生事業及び産業廃棄物の収集・運搬事業に努めます。

制定日:2018年 7月20日
改訂日(第4版):2024年 6月17日

代表取締役 竹谷 佳野

Ⅱ 組織の概要

1 名称及び代表者名

豊産管理株式会社
代表取締役 竹谷 佳野

2 所在地

本社	青森県青森市浪岡大字徳才子字山本19番地112名	
	床面積 413.18 m ²	電 話 0172-55-7360
工務部(青森営業所)	青森県青森市浪岡大字徳才子字山本19番地126名	
	床面積 155.93 m ²	電 話 0172-55-7470
弘前営業所	青森県弘前市清野袋1丁目11-7	16名
	床面積 176.61 m ²	電 話 0172-34-9393
桐ノ沢処理場	青森県青森市大字駒込字桐ノ沢160番1	2名
	床面積 77.58 m ²	

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 前谷俊広
TEL 0172-55-7360

担当者 小野大輔
TEL 0172-55-7360

4 事業活動の内容

管路管理業(管路の調査・清掃・補修)、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業
指定管理施設の管理

5 事業規模

資本金	1千万円
売上高	14.0億円
従業員	59名

6 認証・登録の対象範囲

本社
工務部(青森営業所)
弘前営業所
桐ノ沢処理場

7 事業年度

4月～3月

8 レポートの対象期間

2024年4月～2025年3月



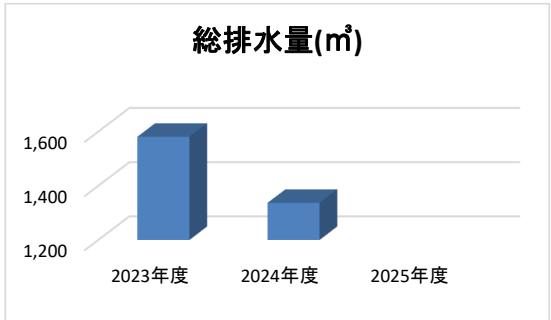
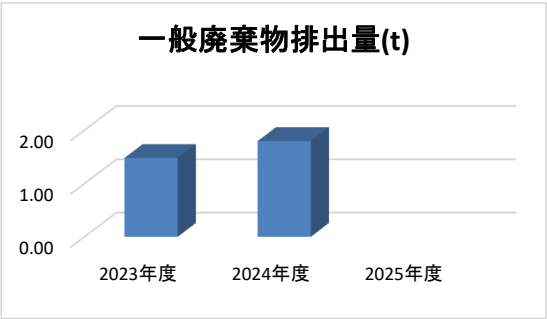
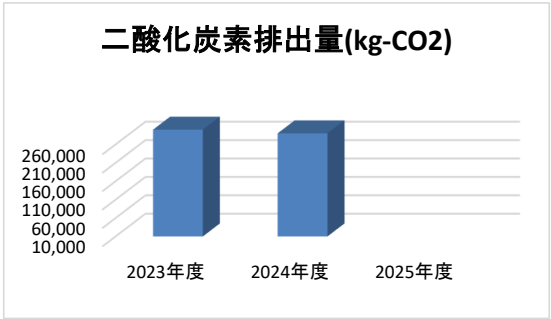
Ⅲ 環境目標とその実績

1 主な環境負荷の実績

表 1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	303,718	290,101	
一般廃棄物排出量	t	1.479	1.795	
産業廃棄物排出量(自社分)	t	261.41	332.89	
総排水量(水資源投入量)	m ³	1,581	1,337	
化学物質使用量	t	—	—	
グリーン購入量(環境物品購入)	品目数	—		
環境に配慮した施工	件数	—		
地域貢献活動	件数	3	3	

(注)購入電力の二酸化炭素は、R2.1.7環境省 産業経済省公表、東北電力㈱の調整後排出係数0.523kgを用いて算定しております。(以下同じ)



2 環境目標の設定

当社では、2019年度を基準年として事務所及び建設現場等における環境目標を設定し、環境負荷削減等に取り組んでおります。表2は、全体の環境目標を掲載しました。

(1)2024年度～2026年度までの3カ年分

表2 環境目標 (全体)

コア指標	環境方針	環境目標項目	削減率又は増加率(%)	基準年度	年度毎目標値 (基準年度に対する削減(増加)率)			中長期の目標
			単位	基準値	2024年度	2025年度	2026年度	2024年度～2026年度
二酸化炭素排出量	省エネルギーの推進	電力の削減	削減率(%)	2023年度	1	2	3	3
			kwh	84,014	83,174	82,334	81,494	81,494
			円	3,091,132	3,060,221	3,029,618	2,999,322	2,999,322
		灯油の削減	削減率(%)	2023年度	1	2	3	3
			L	3,573	3,537	3,502	3,466	3,466
			円	370,369	366,665	362,962	359,258	359,258
		LPGの削減	削減率(%)	2023年度	1	2	3	3
			kg	18.6	18.4	18.2	18.0	18.0
			円	29,654	29,357	29,061	28,764	28,764
		ガソリンの削減	削減率(%)	2023年度	1	2	3	3
			L	30,503	30,198	29,893	29,588	29,588
			円	4,513,576	4,468,440	4,423,304	4,378,169	4,378,169
	軽油の削減	削減率(%)	2023年度	1	2	3	3	
		L	68,589	67,903	67,217	66,531	66,531	
		円	7,043,825	6,973,387	6,902,949	6,832,510	6,832,510	
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	削減率(%)	2023年度	1	2	3	3	
		kgCO ₂	303,718	300,681	297,644	294,607	294,607	
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	ごみの削減	削減率(%)	2023年度	1	2	3	3
			kg	1,479	1,464	1,449	1,435	1,435
			円	261,600	258,984	256,368	253,752	294,607
	建設リサイクルの推進	建設副産物の適正処理	再資源化率	0	(行動指針) ・管路更生現場等においては、廃棄物のリサイクルなど適正な処理に努める			左に同じ
(%)			－					
水使用量	節水	節水	削減率(%)	2023年度	1	2	3	3
			m ³	1,581	1,565	1,549	1,534	1,534
			円	39,962	39,562	39,163	38,763	38,763
自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目		環境に配慮した施工の推進	－	2023年度	行動目標 ・管路更生現場等においては、環境に配慮した施工の推進に努める。			左に同じ
			件数	－				
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	環境に配慮した作業の推進	環境に配慮した作業の推進	件数	2023年度	行動目標 ・受託した産業廃棄物の収集運搬・処分に当たっては、環境に配慮した作業の推進に努める。			左に同じ
				－				
地域貢献	地域貢献活動の推進	清掃活動等	増加率(%)	2023年度	－	－	－	－
			件数	3	3	3	3	3

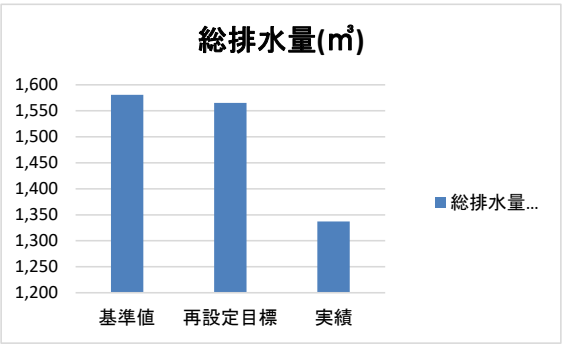
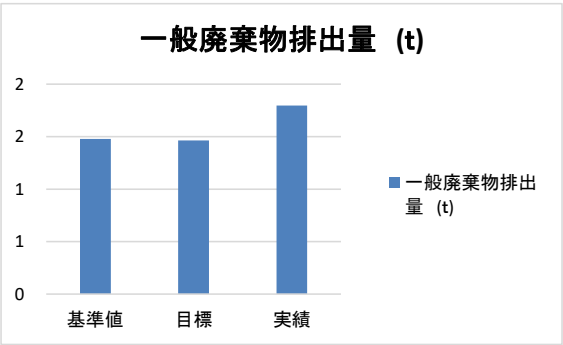
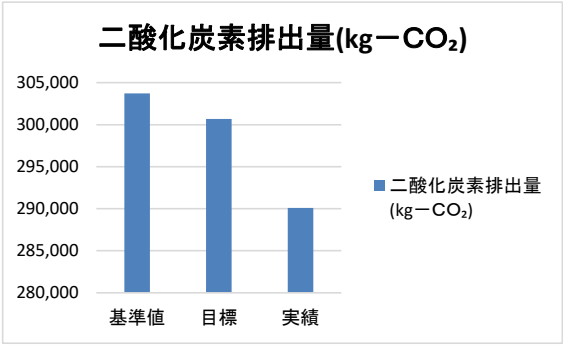
(注)購入電力の二酸化炭素は、R2.1.7環境省 産業経済省公表、東北電力㈱の調整後排出係数0.523kgを用いて算定しております。(以下同じ)

3. 環境目標の実績

表3 当該年度の環境目標の達成状況等(全社)

項目		単位	基準値 (2023年度)	2024年度		環境目標の 達成状況
				削減(増加)率(%)	目標値 実績値※	
1. 二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	303,718	1%減	300,681 290,101	○
	電力使用量	KWh	84,014	1%減	83,174 85,871	×
	灯油使用量	L	3,573	1%減	3,537 4,374	×
	LPG使用量	kg	18.6	1%減	18.4 17.4	○
	ガソリン使用量	L	30,503	1%減	30,198 24,392	○
	軽油使用量	L	68,589	1%減	67,903 67,678	○
2. 一般廃棄物排出量		t	1.48	1%減	1.464 1.795	×
3. 建設リサイクル推進		t	-	(行動目標)		—
4. 総排水量(水資源投入量)		m ³	1,581	1%減	1,565 1,337	○
5. 化学物質使用量		kg	—	(行動目標)		—
6. グリーン購入(環境物品購入)		品目数	—	(行動目標)		—
7. 自らが施工・販売・提供する製品及びサービス	環境に配慮した施工		—	(行動目標)		—
8. 受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	環境に配慮した作業の推進		—	(行動目標)		—
9. 地域貢献活動		件数	3		3 3	○

(注)購入電力の二酸化炭素は、R2.1.7環境省 産業経済省公表、東北電力㈱の調整後排出係数0.523kgを用いて算定しております。(以下同じ)



IV. 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度の取組内容

1. 環境活動計画、取組結果とその評価

表4 主な環境活動計画の内容

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況の評価	取組結果	今年度の実績		次年度の目標・取組内容		
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素排出量の削減	① 不要な照明の消灯	×	取組内容は概ね計画通りに行えたが、夜間業務の増加に伴い電力の削減はできなかった。	購入電力使用量		目標：9月～12月にかけて例年よりも夜間業務が多かった為、達成することができなかった。次年度は、達成できなかった目標数値を達成できるよう、取り組む。 取組：引き続き、会社全体で「クールビズ」や「ウォーム・ビズ」に取り組み、空調やエアコンなどの使用量削減に取り組む。		
		② 玄関、トイレ等の照明に人感センサーを取り付ける(動作確認)			基準値	84,014kwh			
		③ パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定			削減率	1%			
		④ 使用していない部屋の冷房は停止している			目標値	83,174kwh			
		⑤ 夜間、休日はパソコンの主電源を切る			実数値	85,871kwh			
	建設機械・車両用燃料等の二酸化炭素削減	① 定期的な車両点検	○	取組内容も計画的に達成できており、目標値の見直しもあり軽油・ガソリンの使用量はともに達成できた。	軽油使用量	ガソリン使用量	目標：達成はできたが、達成できなかった月が続いた時期があるため、次年度は継続して達成できるように努力する。 取組：引き続き、建設機械・車両用燃料等の二酸化炭素について、エコドライブや使用しない機械の停止などを推進し、可能な限り二酸化炭素の排出量削減に取り組む。		
		② ドライブレコーダー等エコドライブ関連機器を導入/確認(タイヤ交換時)			基準値	68,589L		基準値	30,502L
		③ エコドライブによる安全運転の教育の実施			削減率	1%		削減率	1%
					目標値	67,903L		目標値	30,198L
					実数値	67,678L		実数値	24,392L
	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	① 冬季以外の給湯をできるだけ停止する	△	取組内容は概ね計画通りに行えたが、例年よりも豪雪だった為、灯油の使用料は増加する結果になった。	灯油使用量	LGP使用量	目標：LGPは目標を達成できたが、豪雪だったため灯油は達成できなかった。天候が関わってくるため、様子を見ながら、改善に取り組む。 取組：引き続き使用していない部屋の暖房を停止するなど、周知徹底する。		
		② 使用していない部屋の暖房は停止する			基準値	3,573L		基準値	18.6kg
					削減率	1%		削減率	1%
					目標値	3,537L		目標値	18.4kg
					実数値	4,374L		実数値	17.4kg
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	① ゴミの分別の徹底(分別の掲示物)	×	取組内容は概ね計画通りに行えたが、現場業務増加や豪雪による防寒物品等の購入が増加した為、例年よりも増加した。	一般廃棄物排出量		目標：業務増加や豪雪による防寒物品等の購入などの事情がある為、できる限り目標達成できるよう、創意工夫して取り組む。 取組：できる範囲内で使い捨て製品の購入を抑制する様、取り組む。		
		② 使用済み封筒や裏紙が活用できる紙を可能な限り利用するよう工夫している			基準値	1,479t			
		③ 詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により、長期使用に努めている			削減率	1%			
		④			目標値	1,464t			
		⑤			実数値	1,795t			
	産業廃棄物の削減	① 廃棄物管理票をもとに廃棄物の適正な処理を行っている	○	廃棄物の適正処理は実施されている。	ゴミの分別をし、廃棄物処理も適正に管理されていた。		引き続き、一般廃棄物の混入削減を防ぐ様、周知徹底をする。		
		② 一般廃棄物の混入削減							
	再資源化対策の推進	③	○	トナーカートリッジ等、回収ルートを確認しリサイクルを図っている。			次年度も継続して取り組む。		
		① コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収ルートを確認し、リサイクルを図っている							
		② 両面、集約等の機能を活用した印刷及びコピーを徹底							
節水	水道水の削減(節水)	① 配水管の点検を定期的に行う	○	取組内容も計画的に達成できており、目標値の見直しもあり水量の削減することが達成できた。	総排水量		目標：目標を達成できたため、継続して取り組む。 取組：できる限りの節水を心掛ける。		
		② 車両洗車時のストップノズルを使用する			基準値	1,581m³			
		③			削減率	1%			
					目標値	1,565m³			
					実数値	1,337m³			
排水	排水の適正処理	① 排水は沈殿槽を設け、上澄み水を排水する	○	徹底されている			次年度も継続して取り組む		
		② 燃料タンク、オイルタンク等の漏れの確認							
		③ 生ゴミ等ができるだけ混入しないようにする							
生活環境保全	生活環境保全の取組	① 建設現場等周辺の生活環境に影響の少ない作業方法を検討し、施工している	○	徹底されている			次年度も継続して取り組む		
		② 騒音・振動の防止のため、日常的な監視等を実施している							
		③ 環境汚染防止の為、日常的な監視を実施している							
		④ 廃棄物の飛散防止等に努める							
地域貢献	環境美化の推進	① 地域のボランティア活動等に参加し、協力や支援を行っている	○	不法投棄撤去推進キャンペーン等に参加しており、地域貢献を行うよう活動していた。	地域貢献活動		次年度も継続して、イベントへの参加に取り組む。		
		② ゴミ拾いの実施			目標値	3件			
		③			実数値	3件			
経営における環境とチャンスの明確化	社会貢献	① 地域の環境イベントへの協力・参加	○	各種加盟協会等の不法投棄撤去推進キャンペーンや、高校・大学向けインターンシップを開催しており、地域貢献を行うよう活動していた。			次年度も継続し、向上できるよう取り組む。		
		② 地域防災協定に係る活動への参加							
		③ インターンシップ受入れ							
	技術者育成	⑤ ICT技術研修	△	技術者育成の為、土木施工管理技士等の社内講習等を実施し			次年度も継続し、向上できるよう取り組む。		
		職場環境の整備	⑥ エアコン、空気清浄機、冷水器等の設置及び点検	△	時間単位有休等を整備し、有給取得率も高く推移している。			次年度も継続し、向上できるよう取り組む。	
	⑦ 残業時間の削減、有給休暇取得率向上								
	及す売場並び、エスササ製機・製品販売	環境に配慮した施工の推進	① 廃棄物を排出しない工法に取り組んでいる	○	廃棄物を排出しない工法で工事の実施を行っていた。			次年度も継続して取り組む	
② 必要のない作業車のエンジンを止めるよう徹底している									
お断り、営業活動、営業									

○：評価出来る、△：まずまず評価できる、×：評価できない

3 環境活動の状況



V 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況を確認したところ、違反はありませんでした。
主な環境法令は別表1の通りです。
住民等からの苦情にも適宜対応しました。
また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、訴訟についてありませんでした。

《別表1》

法令等の名称	遵守事項	遵守状況
○廃棄物処理法	・廃棄物処理業者は知事(市長)の許可が必要 ・マニフェスト使用の義務 ・産廃帳簿の記帳 ・管理交付状況の報告 ・委託する場合は許可を受けた者に委託 ・収集運搬車の表示、書面備え付け 等	○
○家電リサイクル法	・消費者の責務(引渡し、料金支払い)	○
○浄化槽法	・浄化槽法規則に定める保守点検及び清掃等	○
○青森地域広域事務組合火災予防条	・指定数量未満の危険物等の貯蔵及び取扱いの届出	○

VI 代表者による全体評価と見直しの結果

今年も災害の応援復旧作業や、県内外の出張、夜間業務等、大雪で難しい作業環境の中でも、一生懸命業務を遂行してくれた。

夜間業務の増加や積雪の影響等もあり目標の未達成があったが、次年度も業務量を多くこなしながら生産性を少しでも向上させて、目標達成ができるよう、引き続き環境活動等に努めていく。

Ⅶ. 廃棄物処理に係る組織の概要

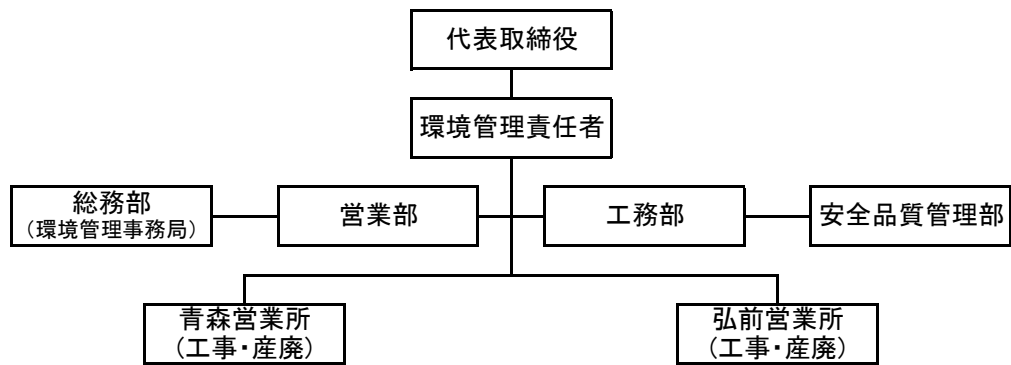
事業所名		豊産管理株式会社								
代表者名		代表取締役 竹谷佳野								
所在地		青森県青森市浪岡大字徳才子字山本19番地1								
環境管理責任者		常務取締役 前谷 俊広								
エコアクション2.1担当者		総務部 小野 大輔								
連絡先		電話	0172-55-7360		ファックス	0172-55-7369				
		E-mail	d-ono@housan.co.jp							
		URL	www.housan.co.jp							
事業活動の内容		管路管理業（管路の調査・清掃・補修）・産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物中間処分業								
（令和二年規模）	品名	一般廃棄物	産業廃棄物							
	収集運搬量 t	-	924.204							
	処分量 t	-	840.790							
	製造量 t	-	-							
	最終処分量 t	-	-							
法人設立年月日		1973年9月27日		資本金		10	百万円	売上高	1,400	百万円
許可の内容	許可名／許可番号	年月日		事業計画・事業の範囲（事業区分、廃棄物の種類）						
	産業廃棄物収集運搬業 青森県 00200 001238	許可	令和3年3月4日	汚泥 廃油 廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず 動植物性残さ ゴムくず 金属くず ガラスくず コンクリートくず及び陶磁器くず がれき類(これらのうち、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除き、水銀使用製品産業廃棄物であるものを含む。)						
		有効	令和10年2月22日							
	特別管理産業廃棄物収集運搬業 青森県 00250 001238	許可	令和2年9月9日	廃石綿等						
		有効	令和9年9月2日							
	産業廃棄物収集運搬業 岩手県 00300001238	許可	令和4年8月11日	燃え殻 汚泥 廃プラスチック類 ガラスくず、コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。)及び陶磁器くず がれき類						
		有効	令和11年8月10日							
	産業廃棄物収集運搬業 宮城県 0400001238	許可	平成4年5月18日	汚泥(含水率8.5パーセント以下のものに限る。)						
		有効	令和11年5月17日							
	産業廃棄物収集運搬業 秋田県 00504001238	許可	令和2年12月27日	燃え殻 汚泥(下水道汚泥で含水率8.5%以下に限る) 紙くず 木くず 繊維くず 金属くず がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く)						
		有効	令和9年12月26日							
	産業廃棄物収集運搬業 山形県 00609001238	許可	令和2年10月19日	汚泥						
		有効	令和7年10月18日							
	一般廃棄物処理業 青市指令廃対第4号	許可	令和6年3月25日	一般廃棄物：可燃ごみ(厨芥類を除く。)、不燃ごみ、資源ごみ、粗大ごみ、草木 許可区域：合併前の青森市行政区域内に限る						
有効		令和8年3月24日								
産業廃棄物処分業 青森市 10822001238	許可	令和3年3月4日	汚泥(脱水) 20m³/10h							
	有効	令和10年2月22日								
設備	設備名	能力・産廃の種類	台数		設備名	能力・産廃の種類	台数			
	1. 5 tトラック	収集運搬	1		光硬化車	補修プラント車	1			
	2 tユニック	収集運搬	2		パートライナー車	補修プラント車	1			
	3 tユニック	収集運搬	1		注入工作車	補修プラント車	1			
	4 tユニック	収集運搬	4		穿孔機車	施削車	2			
	4 t ダンプ	収集運搬	1		軽自貨物車	資材運搬車	3			
	10 t 超強力吸引車	収集運搬	2		小型貨物車	資材運搬車	1			
	6 t 強力吸引車	収集運搬	1		ショベルローダー	0.9 m²	2			
	4 t 強力吸引車	収集運搬	3		フォークリフト	2 t	1			
	3 tトラック	収集運搬	1		軽自貨物車	営業車両	2			
	4 t 超高压洗浄車	清掃車	1		軽自乗用車	営業車両	1			
	4 t 高压洗浄車	清掃車	3		小型乗用車	営業車両	4			
	4 t 給水車	清掃車	1		小型貨物車	営業車両	6			
	TVカメラ車	検査測定車	4		普通乗用車	営業車両	5			

受託した産業廃棄物の処理量

令和6年度4月～令和7年度3月

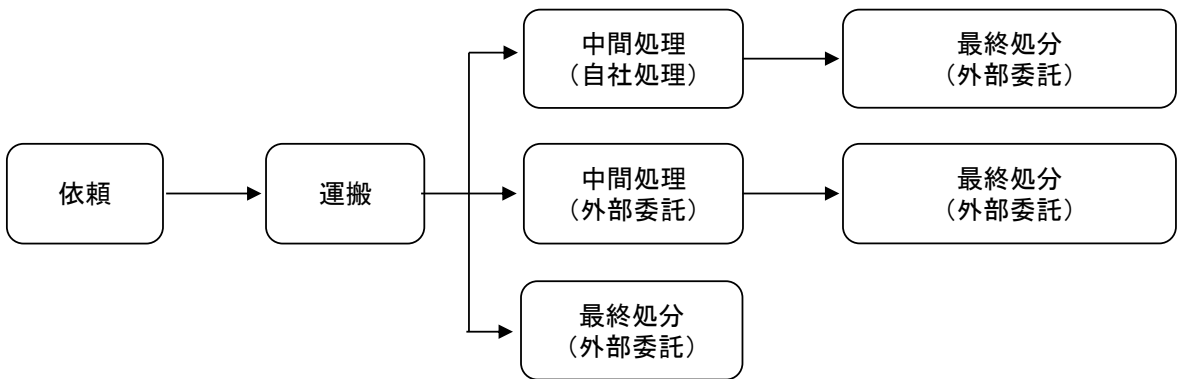
処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t	
収集運搬		燃え殻		0.000	
		汚泥		906.020	
		廃プラスチック		2.970	
		紙くず		0.000	
		木くず		0.000	
		繊維くず		0.000	
		動植物性残さ		0.000	
		ゴムくず		0.000	
		金属くず		0.070	
		ガラスくず		0.000	
		コンクリート・陶磁器くず		0.000	
		がれき類		14.910	
		家畜ふん尿		0.000	
		家畜の死体		0.000	
		ばいじん		0.000	
		廃油		0.234	
		廃石綿		0.000	
		水銀		0.000	
	収集運搬量合計				924.204
中間処理		汚泥	脱水	840.790	
	うち再資源化等		脱水汚泥	サーマルリサイクル	64.610
		再資源化等量小計		64.610	
中間処理合計				840.790	
最終処分					
最終処分量合計				0.000	
中間処理後の産業廃棄物	最終処分				
	再資源化		脱水汚泥	焼却（委託　サーマルリサイクル）	64.61
	再資源化等量小計		64.610		
中間処理後処分量合計				64.610	

【組織図】

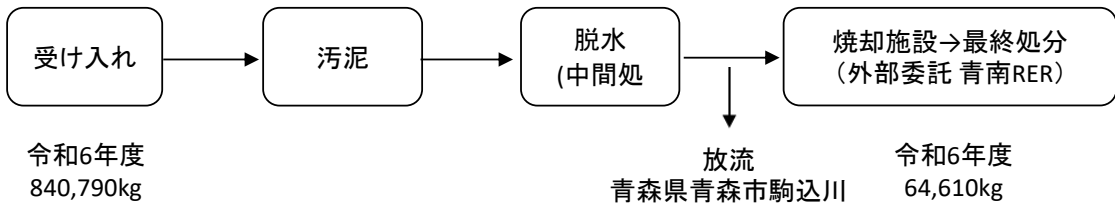


【産業廃棄物処理工程】

収集運搬



桐の沢中間処理場



桐の沢中間処理場 汚泥脱水フロー

